



# 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 川崎近海汽船株式会社

上場取引所 東

コード番号 9179 URL <http://www.kawakin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井繁礼

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 高田雅彦

TEL 03-3592-5829

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	31,529	5.3	1,421	△49.5	1,289	△51.3	777	△53.2
23年3月期第3四半期	29,948	7.5	2,812	72.3	2,645	72.2	1,661	52.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 727百万円 (△55.5%) 23年3月期第3四半期 1,632百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	26.50	—
23年3月期第3四半期	56.60	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	39,076	20,999	53.7
23年3月期	37,717	20,521	54.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 20,999百万円 23年3月期 20,521百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	3.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,100	5.6	1,400	△47.9	1,200	△52.4	750	△50.1	25.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	29,525,000 株	23年3月期	29,525,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	165,555 株	23年3月期	165,339 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	29,359,639 株	23年3月期3Q	29,360,376 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(その他)に関する事項	3
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4.	四半期連結財務諸表	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間	7
	(3) 継続企業の前提に関する注記	8
	(4) セグメント情報等	8
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
	(6) 重要な後発事象	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災以降混乱した物流機能も回復基調を辿り、企業の生産活動は緩やかに持ち直す兆しが見られたものの、デフレの長期化や雇用情勢の悪化懸念から、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

海運業界を取り巻く環境は、欧州諸国の財政不安や米国景気の低迷などから長期化する円高に加えて、燃料油価格の高止まりなどにより厳しい経営環境となりました。

このような状況下、当社の第3四半期連結累計期間の売上高は315億29百万円となり前年同期に比べて5.3%の増収となりました。営業利益は14億21百万円となり前年同期に比べて49.5%の減益、経常利益は12億89百万円となり51.3%の減益、特別利益を3億52百万円、特別損失を3億10百万円計上した結果、四半期純利益は7億77百万円となり53.2%の減益となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

#### 「近海部門」

不定期船輸送では、依然として新造船の供給圧力が強く市況は低迷しましたが、日本向け石炭・ドロマイト等バラ積貨物輸送で年度契約を結んでいたことにより、輸送量は略前年並みを維持しました。

また、定期船輸送では、往航の香港・海峡地及びタイ向けで好調な鋼材需要に支えられていましたが、10月に発生したタイの洪水被害の影響により前年並みの輸送量にとどまりました。一方、復航の合板輸送においては国内需要が低迷し、輸送量は前年同期に比べ減少しました。

同部門の売上高は115億55百万円となり前年同期に比べて7.4%の増収となりました。また、営業損益は前年同期7億72百万円の営業利益に対し、当第3四半期は2億65百万円の営業損失となりました。

#### 「内航部門」

不定期船輸送では、鉄鋼、セメントメーカー向け石灰石専用船は概ね順調な稼動となりました。

一方、国内のロールオンロールオフ船定期航路では、釧路航路・苫小牧航路においては、大震災の発生で北関東より京浜地区に寄港地を変更した影響から輸送量は一時的に減少しましたが、原航路へ復帰以降は荷動きが徐々に回復し前年並みの輸送量を確保しました。しかし、北九州航路では、荷動きに合わせて第3四半期以降減船したことにより輸送量は前年同期に比べ減少しました。

八戸／苫小牧のフェリー航路でも、震災の影響により八戸港が被災したため、青森港を代替寄港地とする臨時運航を行いました。旅客数は減少したものの、トラック輸送量は前年並みを維持することができました。

同部門の売上高は199億15百万円となり前年同期に比べて4.1%の増収となりました。また、営業利益は16億50百万円となり17.2%の減益となりました。

#### 「その他事業部門」

当事業の主なものとしては、北海道地区における不動産賃貸業などがありますが、同部門の売上高は58百万円となり前年同期に比べて3.9%の減収となりました。また、営業利益は35百万円となり22.2%の減益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ13億58百万円増加し390億76百万円となりました。流動資産は、短期貸付金の減少などにより23億8百万円減少し97億33百万円となりました。固定資産は、新造船建造にともなう船舶及び建設仮勘定の増加などにより36億66百万円増加し293億42百万円となりました。

負債は、前期末に比べ8億81百万円増加し180億76百万円となりました。流動負債は、短期借入金の増加などにより4億9百万円増加し81億35百万円となり、固定負債は船舶建造資金の借入れなどにより4億72百万円増加し99億41百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加などにより前期末に比べ4億77百万円増加し209億99百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成23年10月31日の発表から変更ありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	779,692	1,104,064
受取手形及び営業未収入金	3,602,251	5,243,589
原材料及び貯蔵品	881,810	749,052
短期貸付金	5,560,000	1,378,000
その他	1,228,214	1,271,255
貸倒引当金	△10,037	△12,117
流動資産合計	12,041,933	9,733,844
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	22,018,871	22,661,109
土地	1,080,560	1,051,895
建設仮勘定	911,781	3,806,676
その他(純額)	594,283	569,959
有形固定資産合計	24,605,496	28,089,641
無形固定資産	136,556	105,535
投資その他の資産	933,389	1,147,048
固定資産合計	25,675,442	29,342,226
資産合計	37,717,375	39,076,071
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,004,812	3,350,591
短期借入金	2,630,499	3,292,911
未払法人税等	798,772	13,760
賞与引当金	177,885	107,660
役員賞与引当金	44,000	33,000
災害損失引当金	4,770	1,523
その他	1,065,850	1,336,145
流動負債合計	7,726,588	8,135,592
固定負債		
長期借入金	7,978,164	8,555,392
退職給付引当金	102,898	114,853
役員退職慰労引当金	600,322	402,420
特別修繕引当金	406,640	435,044
その他	380,975	433,567
固定負債合計	9,469,001	9,941,278
負債合計	17,195,589	18,076,871

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,368,650	2,368,650
資本剰余金	1,248,849	1,248,849
利益剰余金	17,467,033	17,995,441
自己株式	△27,422	△27,464
株主資本合計	21,057,110	21,585,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,298	16,580
繰延ヘッジ損益	△7,299	△2,716
土地再評価差額金	△600,145	△588,700
為替換算調整勘定	△8,177	△11,440
その他の包括利益累計額合計	△535,324	△586,276
純資産合計	20,521,785	20,999,199
負債純資産合計	37,717,375	39,076,071

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	29,948,775	31,529,858
売上原価	24,473,817	27,423,321
売上総利益	5,474,957	4,106,537
販売費及び一般管理費	2,662,884	2,685,372
営業利益	2,812,072	1,421,165
営業外収益		
受取利息	23,626	12,225
受取配当金	20,213	17,547
その他	24,462	13,250
営業外収益合計	68,302	43,023
営業外費用		
支払利息	132,436	108,828
為替差損	89,156	46,655
その他	12,952	19,213
営業外費用合計	234,546	174,697
経常利益	2,645,828	1,289,491
特別利益		
固定資産売却益	186,462	—
貸倒引当金戻入額	—	352,700
特別利益合計	186,462	352,700
特別損失		
減損損失	—	243,163
投資有価証券評価損	—	67,478
特別損失合計	—	310,641
税金等調整前四半期純利益	2,832,290	1,331,549
法人税、住民税及び事業税	1,158,873	311,646
法人税等調整額	11,350	241,937
法人税等合計	1,170,223	553,584
少数株主損益調整前四半期純利益	1,662,067	777,965
少数株主利益	263	—
四半期純利益	1,661,804	777,965



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,662,067	777,965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,661	△63,717
繰延ヘッジ損益	9,578	4,583
土地再評価差額金	—	11,444
為替換算調整勘定	△1,562	△3,263
その他の包括利益合計	△29,645	△50,952
四半期包括利益	1,632,421	727,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,632,158	727,013
少数株主に係る四半期包括利益	263	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

[セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	近海部門	内航部門	その他事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,763,762	19,123,629	61,382	29,948,775	—	29,948,775
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,763,762	19,123,629	61,382	29,948,775	—	29,948,775
セグメント利益	772,121	1,994,130	45,820	2,812,072	—	2,812,072

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,812,072
「その他」の区分の利益	—
四半期連結損益計算書の営業利益	2,812,072

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	近海部門	内航部門	その他事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,555,275	19,915,617	58,965	31,529,858	—	31,529,858
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,555,275	19,915,617	58,965	31,529,858	—	31,529,858
セグメント利益又は損失(△)	△265,161	1,650,672	35,654	1,421,165	—	1,421,165

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,421,165
「その他」の区分の利益	—
四半期連結損益計算書の営業利益	1,421,165

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	近海部門	内航部門(注)	その他事業部門	計			
減損損失	—	243,163	—	243,163	—	—	243,163

(注) 売却資産に係るものであります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。